

笠神社 岡山県神社庁 神社検索システム

由緒

当社の創建は不詳であるが、鴨別命が功あって笠臣の姓を賜り、当社を勧請したとも伝えられている。後にカサメと変じて笠岡となる。

正応（1288）大嘗会和歌集大蔵卿隆博の詠んだ歌に「天の下かさめの山の草木まで春のめぐみの露ぞあまねき」とある。

往古、笠目山（応神山）に応神天皇が御巡幸の際に、狩をされ一陣の風に、天皇の被っていた笠が飛び麓の松の木にかかった。その松を「笠掛の松」と呼び、そこに八幡神社が建てられた。

天文年間に第16代村上天皇の後胤村上左近大夫隆重が、古城山に城を築いてより、累代城主が当社を崇敬し、社殿を改築し、祭祀を厳重にし、永禄13年（1570）8月その式目を定め祭式及び献饌の品を規定し、御供料米3石3斗、錢3貫300文、大御供料米10石、錢10貫文白飯御供料米1石8斗、銀360目同3石6斗、銀720目等の制を設けた。

村上左近大夫隆重の書状に、「当所伏越八幡宮造立堅固候条薦其忠功云々」とある。伏越八幡宮、宮地八幡宮、東八幡等の名は笠神社の中古から慣例の古称であって、現在の笠神社は、「備中国本宮書記略」によって、社号の復旧を願い出て、明治4年正式神社名となった。

氏子 5,000戸（笠岡の総氏神）



[前の写真へ次](#)

基本情報

神社コード 09009

神社名 笠神社（カサジンジャ）

通称名 八幡様

旧社格 村社

鎮座地 〒714-0081 笠岡市笠岡679

電話番号 0865-63-4614

FAX番号 0865-63-4313

駐車場 有 30台

御祭神 応神天皇, 天照皇大神

御神徳

主な祭典 10月第2日曜と前日：例祭

宮司宅電話 0865-63-4614

URL

e-mail

特記事項

氏子地域 笠岡市（一番町、笠岡、九番町、五番町、三番町、四番町、七番町、十一番町、十番町、中央町、二番町、八番町、緑町、六番町）

交通アクセス

J R山陽本線笠岡駅から東南に徒歩8分

[検索画面に戻る](#)

